



3年生がにんにくの土作りをしたよ!

10月1日(水)、3年生が学校園でにんにく畑の「土作り」をしました。この日は、にんにく栽培でお世話になっている須藤良一さんをゲストティーチャーとしてお招きしました。

まず、須藤さんから「にんにく畑の土作り」の仕方についてお話をいただきました。3年生の子どもたちは、これまでに「にんにくについての学習」をしたり、実際に「にんにくの芽かき」や「収穫」をし、保護者の方に「にんにくの販売」をしたりしてきました。

これからは、3年生が実際ににんにくの栽培をしていきます。そのための第一歩として、須藤さんから「にんにくがよく育つような土作り」についての説明をいただきました。その後、畑に肥料をみんなでまきました。この日は、10月に入ったというのに秋の気配を感じるどころか、まだまだ暑さが身にしみる天気の良い日でした。そのような中、3年生の子どもたちは、自分たちがこれから大きなにんにくを育てていきたいという思いで、にんにく畑の隅々までまんべんなく肥料をまいていました。子どもたちは、肥料がきちんとまけているのかについて確認しながら一生懸命土作りをしていました。その後、須藤さんが土を耕す機械でにんにく畑の土を耕してくださいました。

この日は、土作りに時間がかかって、須藤さんに質問をする予定の時間がなかったため、次回、詳しく教えていただくことにしました。子どもたちが考えていた、にんにくを育てていくための工夫やしなければならないことについての質問を少し紹介します。

- ・土作りの時に、どのような工夫をしていますか。
- ・にんにくを上手に育てるときに、どのようなことをしていますか。
- ・種をまくときに、どのようにしたらうまくまけますか。

《3年生の「土作りの様子」を紹介します。》

